

第10回 グリーン購入大賞 応募用紙

記入日： 20年 7月 25日

応募 区 分	募集テーマ					
	募集区分	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4	
		環境配慮型製品・サービスの開発とコミュニケーションの推進	グリーンコンシューマーの育成	行政や企業のグリーン購入の推進	国際的なグリーン購入の取り組みの推進	
	部 門	大手企業	1	2	3	4
		中小企業	5	6	7	8
		行政	9	10	11	12
民間団体・学校		13	14	15	16	
プロジェクト		17	18	19	20	

※応募区分「ひとつだけに○」を付けてください。※複数の区分へ応募する場合は、それぞれ作成下さい。

応募 団 体 の プ ロ フ ィ ー ル	応募団体名	(フリガナ) キタクユシュウシ 北九州市			
		※プロジェクトでの応募の場合は、こちらにプロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。			
	応募担当者 連絡先	所在地：〒			
		部署名：	役職名：		
		氏名（フリガナ）			
		電話番号：	FAX番号：		
		メールアドレス：			
	ホームページ	http:// www.city.kitakyushu.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=1203			
	資本金（企業のみ）				
	従業員・職員数				
事業内容（※行政の場合は、記入は不要です）：					

グ リ ー ン 購 入 の 取 組 み 状 況	※応募団体及びプロジェクトとしてのグリーン購入の取組み状況を簡単にお書き下さい。 北九州市では、市民・事業者が率先して積極的にグリーン購入に取り組むため、平成13年10月にグリーン購入基本方針を策定し、推進体制・実施要領の策定などを規定している。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本方針 基本的な考え方、特定調達物品の対象分野・基準、推進体制(アジェンダ21庁内推進会議の設置、事務局の指定)、基準の見直し、成果の取りまとめと公表、普及啓発、情報の発信 など ○ 実施要領 調達経費の範囲、環境物品等の単位、報告方法 など <p>毎年度、全部局をあげて積極的に取り組んでおり、環境物品調達達成率は概ね100%で推移している。</p>

応募内容について (A4版2枚以内で記述して下さい。)

1. 応募する活動の名称・タイトル

ポイントシールを活用したレジ袋削減策などによるグリーンコンシューマーの育成

2. 活動の概要

〔全市共通ノーレジ袋ポイント「カンパスシール」事業の展開〕

全市で共通して利用できるポイントシールによるレジ袋削減事業を平成18年12月から開始。当事業はごみの減量化、CO₂の削減、環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー）育成という役割を担い推進中。

1 事業内容

- 参加店は消費者がレジ袋の提供を辞退した場合、事前に購入したポイントシール（2.5円又は1.25円相当）を1枚提供する。
- 消費者はシール20ポイント分（50円相当）を集めて、参加店で利用する。
- 参加店は消費者が利用したシール分の金額を請求し、払戻しを受ける。（事務局に請求）

2 目標値と現状

○平成21年3月までにレジ袋辞退率（シール発行枚数／レジ通過客数×100）を20%とすることが目標であるが、現在（平成19年6月まで）で、18%～19%程度で推移している。

○参加店舗数は、現在304店舗

3 レジ袋削減以外の環境活動への「カンパスシール」の活用

○グリーン購入推進への利用

一部の家電量販店で、統一省エネラベル表示家電購入者へ省エネ基準達成率（星の数）に合わせたポイントの交付を実施

○環境保全活動への利用

ボランティア活動（清掃・植樹）に参加店がスポンサーとなってボランティア参加者にポイント交付

4 レジ袋削減賞の創設

3R活動を奨励し、循環型社会形成に向けた市民活動を促進するため、平成19年度に「北九州市3R活動推進表彰制度」を創設した。そのうち、レジ袋の辞退率が30%を超える事業所(店舗ごとに表彰)と同辞退率20%を超える事業者（複数の事業所を有する事業者）を表彰する「レジ袋削減賞」も設け、その取組状況をPRしている。

〔3R講座の開催〕

3Rの必要性の理解と市民一人ひとりが実践できるような活動の提案を行うことを目指した講座を平成15年度から開講。特に、消費の側面から市民の主体的な環境活動を促し、グリーンコンシューマーの育成を図る。

■事業内容(20年度予定分)

○「MY・プチエコ実践講座」

身近な環境に関する疑問に答え、環境に配慮した買物や暮らし方を楽しく気軽に学び、具体的な実践に導く講座。定員20名、全5回×2回/年。

○「3Rものづくり講座」

幼児・児童・親子を対象にもものづくりや遊びを通じて、モノを大切にすることを育み、環境にやさしい暮らし方を学べる講座。定員5組/回×2回、年4回

○「エコな買い物講座」

「環境にやさしい商品の選び方、買物の仕方工夫」を提案し、日常の買物で実践してもらうための講座。定員20名、年4回

3. 活動による成果・効果(できるだけ具体的・定量的な内容をご記入下さい。)
※特に「グリーン購入活動による地球温暖化防止の取組」については高く評価します。

〔全市共通ノーレジ袋ポイント「カンパスシール」事業の効果〕

1 レジ袋削減量、CO₂削減量の効果

事業開始から参加店が購入したカンパスシールは約 2,000 万枚。全て利用された場合、レジ袋は最小でも同数が削減されたこととなりその場合、重量で約 200 トン (10g/枚) 相当の削減となる。
これに相当する CO₂削減量は、約 1,200 トン (60g/枚) となる。

2 市民の参加数

レジ袋辞退率が約 20% であることやシールの台紙の市中流通状況 (35 万枚) から見れば、延べ 20 万~35 万人の市民が参加していることが伺える。

3 レジ袋有料化を牽引

当事業を足がかりにレジ袋有料化を開始した店舗が出現。マイバック持参率約 90% (レジ袋辞退率約 70%) という効果を上げている。

4 他の環境行動への利用拡大

本事業が取組みやすい仕組みであることから、「植樹・清掃」のボランティア活動、省エネ家電購入というグリーン購入の推進への利用など、新たな環境行動への利用拡大が見られるようになった。

〔3R 講座の開催〕

講座は 15 年度から開講。20 年度からコース制を導入 (同一の受講者が数回の講義を受講するもの)。
※平成 17 年度の人数は推計。平成 20 年度の数字は予定

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度(予定)
講座参加者数	636	459	352	281	80
実施回数	27	25	26	22	18

4. 活動に関して、①先進性・独自性、②継続性・発展性についてご記入下さい。(各 200 字程度)

①先進性・独自性

参加店舗として、地元の店舗だけでなく全国展開の大型店舗 (スーパーマーケット) も参加するなど、市民生活に身近なスーパーマーケットの 8~9 割が参加している。そのため、貯めたポイントを使用する際にも便利であり、また参加店舗を目にする機会も多いことから、マイバッグ運動啓発にもつながっている。

②継続性・発展性

「カンパスシール」は、平成 18 年 12 月から現時点で約 1 年半継続しており、平成 21 年 3 月 31 日までとしていた事業期間を継続する予定である。
また、当事業を足がかりに自発的にレジ袋有料化を開始した店舗も出現したほか、レジ袋削減以外の環境行動 (植樹、清掃活動、省エネ家電購入等) に対してもポイント交付を行う動きが事業者の方から起こるなど、自発的な広がりを見せている。

5. 添付資料について(添付資料がある場合、その内容をお書き下さい)